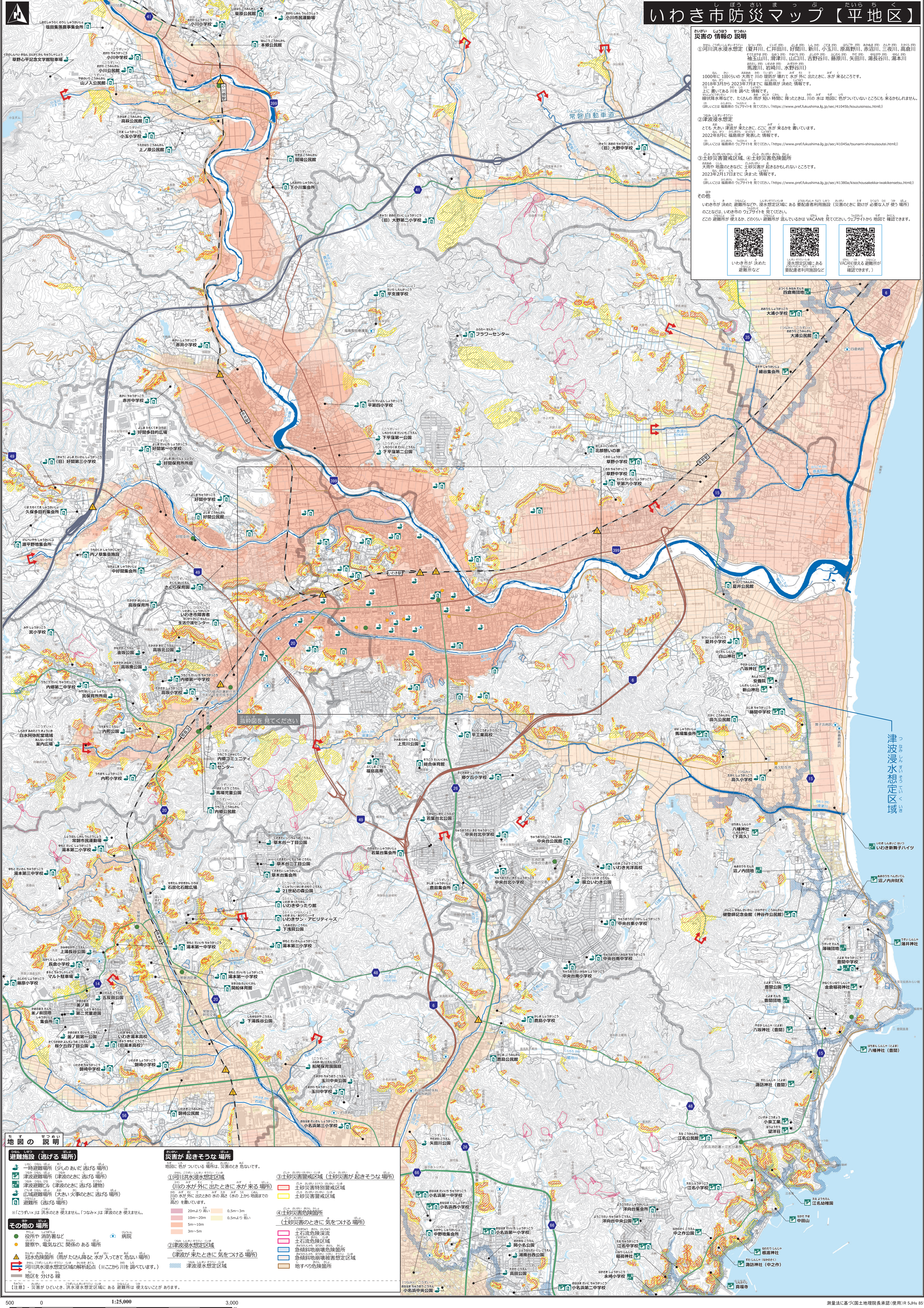




いわき市防災マップ【平地区】

災害の情報の説明

①河川洪水浸水想定（夏井川、仁井田川、好間川、新川、小玉川、原高野川、赤沼川、三夜川、高倉川、猪山川、清津川、山田川、吉野谷川、藤原川、矢田川、湯長谷川、湯本川、馬渡川、若崎川、水野谷川）

1000年に1回程度の大雨で川の堤防が壊れて水が外に出たときに、水が来るところです。2018年3月から2023年7月までに福島県が決めた情報です。

上に書いてある川を調べます。

線状降水帯などで、たくさん雨が降ったときは、川の水位は地図に色がついていないところにも来るかもしれません。（詳しくは福島県のウェブサイトを見てください。https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41045b/kousuisinsou.html）

②津波浸水想定

とても大きい津波が来たときに、どこに水が来るかを書いています。

2022年8月に福島県が決めた情報です。

③土砂災害警戒区域、④土砂災害特別警戒区域

大雨や地震のときに土砂災害が起きるかもしれないところです。

2023年2月17日までに決まった情報です。

⑤土砂災害警戒区域、⑥土砂災害特別警戒区域

（詳しくは福島県のウェブサイトを見てください。https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41380a/kisochousakekkawakenseutsu.html）

その他

いわき市が決めた避難所など、浸水想定区域にある要配慮者利用施設（災害のときに助けが必要な人が使う場所）のことは、いわき市のウェブサイトを見てください。

この避難所を使えるか、この避難所が通れるかはVACANを見てください。ウェブサイトから地図で確認できます。



津波浸水想定区域

地図の説明

避難施設（逃げる場所）

- 一時避難場所（少しのあいだ逃げる場所）
- 津波避難場所（津波のときに逃げる場所）
- 津波避難ビル（津波のときに逃げる建物）
- 広域避難場所（大きい火事や地震のときに逃げる場所）
- 避難所（逃げる場所）

※「ごうがい」は、災害のときに使えます。「なま×」は、津波のときに使えません。

その他の場所

- 役所や消防署など
- 警察や電気など、関係のある場所
- 冠水危険箇所（雨がたまるので水が入ってきやすい場所）
- 河川洪水浸水想定区域の解析起点（※ここから川を調べます。）
- 地区を分ける線

災害が起きそうな場所

地図に色がついている場所は、災害のとき危険です。

①河川洪水浸水想定区域

川の水が外に出たときに水が来る場所

川の水が外に出たときの水の深さ（水の上が地面までの高さ）を調べています。

20mより深い	0.5m~3m
10m~20m	0.5mより深い
5m~10m	
3m~5m	

②津波浸水想定区域

津波が来たときに水が来る場所

津波浸水想定区域

③土砂災害警戒区域（土砂災害が起きそうな場所）

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

④土砂災害警戒区域

（土砂災害のときに気をつける場所）

- 土石流危険渓流
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 急傾斜地崩壊被害想定区域
- 地すべり危険箇所